

人と自然の営みを体感しよう

校長 矢島 加都美

『農村体験』と聞くとどのようなイメージもちますか？多くの方が「農作業を手伝い、畑の作物を収穫する」と考えるのではないのでしょうか。

そのような考えは捨ててください。豊かな自然に囲まれた農村で、班ごとに分かれ、ありのままの農村生活を体験するし、多くのことを学ぶことができるのが『農村体験』です。受け入れ先の農村家庭や村の人々と交流をとおして、学校や普段の生活では経験することができない貴重な体験学習に取り組みます。

受け入れ先の農家によって体験活動は異なります。種まきや植え付け、草取り、収穫などの農作業のお手伝いや、農機具の手入れ、動物の世話など野外活動や取れたての野菜を使ったおやつや漬物作りなど、農村の何気ない日常生活を学習しましょう。

また、人生経験が豊富なお年寄りから農村での生活の智恵、昔の農村の暮らしぶりや生活習慣、伝統文化、方言などについてお聞きできるかもしれません。

様々な体験をとおして、「農業」という産業の重要性和「食」の大切さを実感してください。さらに、受け入れ先のご家庭や村の人たちと触れ合うことで、今の社会が失いかけている「地域社会のあるべき姿」やあいさつに始まる「コミュニケーション」の原点を学び、これからの日本に必要な事を実感し、中学校3年間でやるべきことや将来の進路について考えるヒントとなる3日間になることを期待しています。